

遷喬地区公民館だより 12月号

令和3年12月1日発行 第237号

発行：遷喬地区公民館
鳥取市本町1丁目109
TEL 27-8562 / FAX 27-8566
<http://chiiki.city.tottori.tttori.jp/senkyo-1>

せんきょう散歩 ③7



遷喬小学校創立150年!

12月1日は、遷喬小学校の創立記念日です。遷喬小学校は、明治5年に設立され来年創立150周年を迎えます。

現在、150年という小学校の長い歴史を振り返る記念事業の開催に向け、創立150周年記念事業実行委員会を設立し各種事業に取り組まれています。地域の皆様にも記念事業の取り組みにご協力いただければと思います。公民館では、来年の「公民館まつり」で記念事業に協賛する展示を予定し、昔懐かしい遷喬地区の写真等を集めています。皆様のご協力をお待ちしていますのでよろしくお願いします。



《大掃除について》

例年12月に、地区・趣味の教室・体育会同好会のみなさまにお世話になっておりました「年末大掃除」は中止とさせていただきます。改めまして日頃のご協力に感謝申し上げます。



《年末年始》

12/29~1/3は、公民館・体育館は休館とさせていただきます。ご了承ください。

学校運営協議会研修会報告 (R3.10.14開催) 主催 遷喬小学校学校運営協議会

【参加者】運営協議会委員長：桶谷 靖志さん、副委員長：大村 匡由さん、大島 順恵さん
委員：牧浦 康寛さん、橋尾 泰博さん、垣屋 絹子さん、前田 昌志さん、山本 恵子さん、
寛 一郎さん、地域コーディネーター：竹内 裕治さん、学校：校長、教頭、教務

令和3年度第2回学校運営協議会を10月14日に開催しました。先生方を含め、14名の出席でした。

はじめに参加者全員で授業参観し、協議会を開始しました。最初に学校運営協議会の桶谷会長より挨拶、続いて藤原校長先生より6月4日開催の研修会アンケート結果の説明、前期の取り組みと学校評価結果について報告がありました。

研修会アンケートではめざす子ども像を考えるきっかけとなったことや地域と学校が共に子ども達を育てたいという気持ちの再確認ができ、今後はさらに地域と連携した学習に結び付けたいとの報告でした。

学校評価における児童アンケートでは多くが肯定的な評価が90%でしたが、ゲームやスマホ等の使用を夜8時までには終わらせる取り組みであるスイッチオフ8(エイト)ができていない面、また、教職員アンケートでは、一人一人の意見を認め合える学級会、地域とのつながりや地域貢献を意識したカリキュラムマネジメントの面で課題がありました。

安心・安全の体制づくりにおいては、緊急時の情報提供や対応について報告がありました。地域との情報提供や共有をどのように図っていくのかの課題が提示されました。前田委員からは智頭街道での危険箇所情報がありました。

その後、2班に分かれ、「子ども達と地域の方との結びつきをどう深めていくか」をテーマに熟議を行いました。今している地域の活動を、どのようにしたら、また、どんな活動をすれば、子ども達との結びつきが深まるのか、という方向で熟議を行いました。30分という短い時間ではありましたが、各班とも活発な意見をいただきました。

1班では、まずは、「つながり」をテーマに話が進みました。アンブレラの会では、昨年度の取組の振り返りの会で、子どもとの関係をもっと深めたいという意見がでたそうです。放課後、学習を見ていただく話しができました。他にも、子どもが遊びに行くとき、通り道で顔見知りになれる取組はできないか、子どもも教職員も地域の方を知る機会は持たないだろうかなどありました。2班では現状の評価をし、目的・目標を明確にすることが大切であるとの意見から、「今あるものを見直せないか」とテーマで話が進みました。子ども事業(せんきょうっ子広場)では、「もっと地域人材を生かしていけないだろうか。」「あいさつ運動は、回数が増やすことは、難しいだろうか。」など地域の方との出会いの場を大切にしたいなどのご意見をいただきました。

各班の発表後に大島副会長よりまとめとして、本日の熟議では対面で話すことが重要であり、話すことで、どんどん話が前に進んでいく。課題として、学校・地域の思いを互い伝え合う機会が少ない。地域・保護者・学校の3者で思いをフィードバックされなければならない。また、地域の力を子ども達に注いでいくには距離感を縮めなければいけない。そのためにはお互いが顔見知りになること。コロナ禍で難しいところもあるが、今、行っていることを少し変えるだけでより、顔見知りになれる。また、気軽に言える関係性をつくっていくことが当面の目標ではないかとまとめていただきました。その後、今後の予定、各種報告及び説明があり、大村副会長の挨拶で閉会いたしました。

これからも学校運営協議会として、地域と学校が連携・協力し合い、子ども達の未来をつくる活動をしてまいります。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

12月行事予定

1	水	写真教室・ヨーガ教室
2	木	白もくれんの会・ウクレレ教室
3	金	民児協定例会・生け花教室
4	土	遷喬っ子ひろば
5	日	
6	月	かな書道教室
7	火	ハーダンガー刺繍教室・茶道教室 実用ペン習字教室
8	水	
9	木	白もくれんの会・12月期町内会長会
10	金	着付教室
11	土	大正琴教室・3B体操教室・詩吟教室
12	日	
13	月	古典教室
14	火	茶道教室
15	水	ヨーガ教室・社福ふれあいサロン
16	木	白もくれんの会・ウクレレ教室
17	金	生け花教室
18	土	3B体操教室
19	日	
20	月	かな書道教室
21	火	ハーダンガー刺繍教室 実用ペン習字教室
22	水	
23	木	白もくれんの会
24	金	着付教室
25	土	大正琴教室・3B体操教室
26	日	
27	月	詩吟教室
28	火	お正月生け花
29	水	} 休館
30	木	
31	金	

※日程は変更となる場合がございます。

人権啓発推進事業 智頭森林セラピー

共催：遷喬地区人権教育推進協議会



10月30日土曜日、上着もいらぬほどの暖かさの中、人権教育推進事業の館外学習で智頭森林セラピーへ出かけました。6人ごとに1人ガイドさんが付き、こもれびの森1.5kmのコースを歩きました。深呼吸をしたり、ふかふかの土の上に寝転んだり、五感をフルに使って森林を楽しみました。F/1のゆらぎ・ホワイトノイズ・フィトンチッド・マイナスイオンなど、森の中は癒しにあふれています。脳の活性化、リラックス効果、そして大事な免疫力もアップしました。



智頭町に咲いたひまわりの種をいただきました。窓口に置いてあります。ご自由にお持ち帰りください。来年の夏、遷喬地区にひまわりがたくさん咲いたらいいですね。



人権啓発推進事業

人権講演会 盲導犬は大切なパートナー

共催：遷喬地区人権教育推進協議会



11月15日(月)『鳥取ハーネスの会』竹内さん、森山さんと盲導犬ユーザー森山寿美枝さん、盲導犬のディーノちゃんに来ていただきました。「鳥取ハーネスの会」の活動・盲導犬の一生・森山さんのユーザー体験などお話を聞いて、目の不自由な人に対して私たちに何が出来るのかなどたくさんの気づきがありました。特に、まちで盲導犬を見かけた時、可愛くて声をかけたり、なでたりしたくなりますが、これは絶対にしてはいけないことです。ユーザーさんと盲導犬が危険です。命にかかわることなので、ここはグッと我慢をして、そっと見守ってください。ハーネスをしている時はお仕事モードでキリッとして、外したら甘えん坊のとっても人懐っこいディーノちゃんでした。来年の10月で10歳、引退の年だそうです。



おなかを出して満面の笑顔です ←



学校運営協議会報告

支援ボランティアの皆さんありがとうございます

11/2 4年そろばん授業

11/4~25 2年かけ算九九



11/5 1年秋見つけ(おうちだに)



11/17 1年さつまいもパーティー



11/22 3年消防署見学

人権映画 11/23(火)

共催：遷喬地区人権教育推進協議会

『ずぶぬれて犬ころ』を鑑賞しました。25歳の若さで亡くなった岡山の俳人・住宅顕信の半生を描いた作品です。

あらすじ 22歳で出家、鳥取出身の俳人・尾崎放哉に惹かれ、自由律俳句の創作に没頭し句集を自费出版。しかし、急性骨髄性白血病を患い、25歳を以って往生。翌年、俳句の友人・恩師によって公式な句集「未完成」が刊行された。現在、ブームにより認識と再評価がされている。

遷喬の子ひろば グラスアート教室〜クリスマスツリーをつくる〜

11月20日(土)遷喬っ子ひろばを開催しました。人数制限をして15人の参加でした。

細かい作業もこなして、キラキラシールをたくさん貼って、個性もきらきらのクリスマスツリーが完成しました。

